

アクスルのスピンドル部点検整備の重要性について

トレーラ走行装置の点検整備項目として、定期点検及びメーカーが推奨する点検箇所の重要性についてお知らせします。特に長年使用し続けた車両は、部品の劣化が進行している場合がありますので点検整備により、安全を確保してください。

1. アクスルのスピンドル部点検の重要性について（図1）

アクスルのスピンドル部の劣化が進行すると、当該車両の走行安全性が低下するおそれがありますので、入念に点検を実施して頂きますようお願い致します。

アクスルのスピンドル部の安全性を維持するため、摩耗、損傷、亀裂などがないか、目視だけではなく染色浸透探傷剤（レッドチェック、カラーチェック等）を用いた染色浸透探傷検査等による点検を行ってください。また、アクスル・チューブとスピンドルの溶接部についても亀裂、損傷などがないか確実に点検を行ってください。

2. 長年使用し続けたトレーラの点検要領【点検整備時期 12月毎】

（長年使用し続けたとは、使用開始から5年以上経過したことを言う）

- 1) アクスルのスピンドル部は、図2に示す箇所の摩耗、損傷、亀裂がないかを点検する。
- 2) アクスル・チューブとスピンドルの溶接部に亀裂、損傷などがないか確実に点検する。
- 3) 亀裂の点検方法は、染色浸透探傷剤（レッドチェック、カラーチェック等）を用いた染色浸透探傷検査等による。
- 4) 異状な摩耗、損傷、亀裂が認められた場合は、速やかにアクスルを交換する。
- 5) インナー・ベアリングおよびアウター・ベアリング挿入部径の測定は、図3に示す要領でマイクロメーター等を用いて行う。

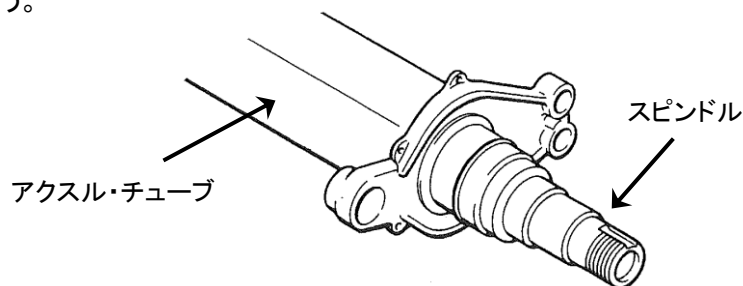


図1

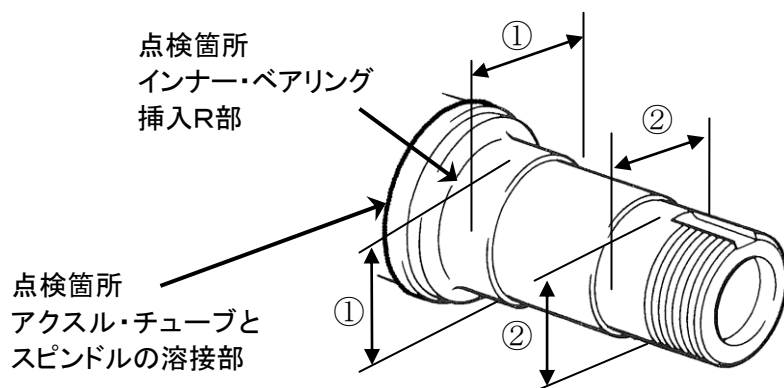


図2

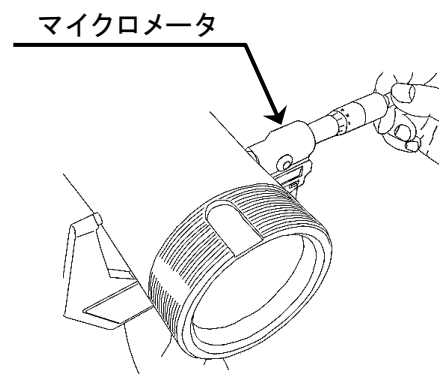


図3

インナー・ベアリング及びアウター・ベアリング挿入部径①、及び②の整備基準については各メーカーに問い合わせてください。